

洛友会会報

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
京都市左京区田中大塚町49
075-701-3164

支部総会出席の旅と

こぼれ話

会長 大谷 泰之

今夏は9月になっても誠に厳しい残暑が続きました。会員の皆様は夏バテも克服されてご健勝に爽秋のシーズンを迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて前号には洛友会の創立以来の経緯に就いて詳述したが、これは会員特に比較的若い会員にも本会を見直して貰って一層のご協力を頂き度念願するためであった。その前号にも少し触れたが小生も相変らず数病息災で過しているものの本年こそは各支部の総会に出来るだけ出席できるよう日程をやり繰りして、先ず5月下旬に中国支部に引続いて九州支部、6月初旬に東京支部、中旬に北海道支部、下旬に関西支部と本部、7月上旬に東北支部の各総会、更に9

月上旬に洛友デルタ会京都大会等に出席させてもらった。

勿論各支部総会に就いては7月号と本10月号の会報等に報告されているので、小生は各支部でのこぼれ話とかよま話とでも言った気楽な話を思い出すままに述べることとする。

先ず5月28日の広島での総会には真田安夫氏(昭2卒)は本年米寿を迎えられたご高令にも拘らずお元気な姿を見せられ乾杯の音頭をとられた。

尚総会に先立って中国電力会長の松谷健一郎氏(昭16卒)を訪ねた節、ご多用の中を中央給電指令室を自ら案内して頂いた。その時昨年9月の台風19号による塩害問題の話を知ったが、何でも一週間

位の長時間停電の止むなきに到り、結局碍子に附着した塩分層を人手で拭き取るという手間のかかる復旧工事のために大変な苦勞をしたとのことであった。又この停電災害時には川村修氏(昭35卒)がポストの立場から殆んど毎日TVのインターネットに張り出し散々な目にあったとの話も直接聞いた。それにしても停電時には瓦斯も水道も使えないという電気の有難さと省エネルギーの肝要なことを痛感させられた次第であった。

処で小生は常々美術館やギャラリー廻りをする事が多いが、総会の翌日午前中にひろしま美術館と広島市現代美術館(比治山上)の収蔵作品展を中国電力の細田順弘氏(昭40卒)の案内で視察した。同氏は最近迄東京に向された節、関東地域の美術館廻りをしておられ具象抽象や造形美術にも造詣深く、久し振りに広島美術文化観賞の静かな一時を過ごすことができた。

次いでその日の午後博多に向い総会迄の時間に九州電力の真部利成氏(昭43卒)の案内で九州電力総合研究所を見学した。特に最近完成し目下テスト中のEMハウス(省エネハウス)を見学したが、これは八角形構造2F建(50坪x5LDK位)で屋根上全面に設置された太陽電池と100Vと200Vの商用電

源用の各種家電機器を備えた総合負荷制御を行ったホームオートメシステムの実験施設であった。それにしても八角形構造建物と屋内外の各種設備家具等の設計研究の楽しさを皆様も味ってみられたらと思つた。

次に上田保之支部長(昭27卒)は総会を楽しく且つ出席者を多くする目的で色々運営上の工夫をされて、先ずスナック式立食パーティでは同氏宅附近の太宰府史蹟のスタイドを使つての紹介があり、次いでテール形式の総会に移り、懇親会では出席者(23名)全員の近況報告があり、3時間に亘る楽しい総会を終つた。

次に6月6日の東京支部総会は例年通り目黒八芳園で開催され約90名の出席者があり盛会であった。毎年役員交替制で支部長は笹岡健三氏(昭26卒)から重本直三氏(昭27卒)に、又副支部長は武藤良介氏(昭28卒)に交替された。例年通り10数頁の行事報告や計画書の説明があつたが特に趣味の会(7種)やグループ活動(卒業年度が3、4年にまたがる念)の報告、更に米寿と喜寿の会員へのプレゼント等毎年の事乍ら盛り沢山の行事があつた。これらは総て世話役の奉仕活動の賜であり、これこそ洛友会の本当の姿であろうと思われた。

尚米寿を迎えられた安達遂氏

(昭4卒)は毎年皆出席で、本年も手術をされたにも不届出席され、健康維持のお話を笑いの中で聞くことができた。

ゴルフの会も毎回40名位の参加があり、又高令組の高木正氏(昭10卒)もエイジスコアの達成も近いとか、又飲物は酒よりチューハイがよいとかの話を知つた。

又小生と同期の真弓克巳氏が今年3月急逝された時の話を長男宏氏(昭40卒)から直接聞いたが、親子会員の同時出席も出来なかつたことは当日出席した数名の同期生共々残念に思つた。親子会員の総会同時出席は確か一昨年の関西支部総会に上林明氏(昭3卒)と長男上林力氏(昭42卒)と二人で出席されたことを憶えているが、その上林明氏も本年3月逝去された。

処で関西支部と本部の総会は6月27日ホテル京阪京都で約70名の参加を得て開催された。支部長森井清二氏(昭24卒)の挨拶の中で、本年は京都蹴上の水力発電所は設立100周年になるが、先般世界で初めて超電導発電機(出力100kW)の系統連続運転試験が開始されたとの話がビデオ上映で紹介された。この超電導発電機は母教室の岡田隆夫教授(昭30卒)の研究で試験研究が行われていたものである。我国最初の水力発電所で世界で初めて先端的発電機の実用化テスト

が実施されたことは意義深いことであつた。

関西支部の数々の行事の中で毎年秋期に約200名の参加者を得て行われる家族見学会は恐らく洛友会の行事の中で最多人数の会合と思われるが、その裏方の幹事役の並々ならぬ苦勞が偲ばれいつも深謝している。又ゴルフ会も毎回30〜40名の参加があり幹事のゴルフ場のエントリーは仲々大変な様である。処で本洛友会顧問の芦原義重大先輩(大13卒関西電力名誉会長)は当日欠席されたが90才を越える現在でも時々社内コンペ等に参加されハーフランドで可成りの好スコアーをだしておられる話も聞いた。

関西支部の行事には何時も西台惇氏(昭32卒)の流暢な指導で故松田先生の作詞作曲になる洛友会の歌を全員で合唱し閉会する例になつておられることをつけ加えておきま

す。
8月12日札幌のパークホテルで北海道支部総会が開かれ、小生久しぶりで出席させて頂いた。何分にも同支部の会員数は約15名であるがそれでも毎回9〜10名の出席があり、支部長池内義則氏(昭21卒)や主として札幌市在住の会員と楽しい一夜を過ごすことが出来た。実はその前日から当日にかけて小生(昭13卒)のクラス会が、札幌

近郊の新江別市に同期生松尾三郎氏が理事長として設立した北海道情報大学と附置の2研究所の見学を兼ねて同大学国際交流センターで開かれたので、前日の11日の朝京都を出発、大阪空港から千歳空港へ昼過ぎ若干遅れて到着、可成り無理をしながら会場へ運参、広大な緑の原野の中のユニークな建物のある全学内を見学後、夕刻から懇親会に参加した。(参加者は

夫人4名を含めて17名)
小生無理をした影響でその席上脳貧血を起したが、この機会に一度病院で診断を受けた方がよいとの級友の勧めに従い救急車で近くの病院に運ばれ点滴を受けた。(何れも小生にとって初めての体験であつた)お陰で約2時間後には元氣になつて帰宿、翌12日ゴルフ組と別れて生憎くの雨天の中を観光組に参加して近くの開拓記念館その他を見て小樽に向う一行と札幌で別れ、宿舎のパークホテルに投宿した。午後は雨も上り付近の中島公園や地下鉄で駅付近を散策した後支部総会に参加した次第です。

尚地下鉄にはフォームからのエスカレーターやエレベーターも見付からず、さすが若い元氣な在住者の多い活力ある都会と思われた。そして翌13日は谷村實氏(昭31卒北海道電力)に空港迄送つて貰つたが、坦々たる高速道路を走る車

中で久しぶりで懐旧談を交した。折からの観光シーズンに入つて観光客で混雑する待合室で同氏と別れ、スパー席も満席の日航便で約2時間後大阪空港到着、空港バスで夕刻帰洛した。
次に7月4日仙台で開かれた東北支部総会に出席した。会員は東北全域の約30名の内三上謹五支部長(昭21卒)はじめ10名の参加があり、東京地域等から出向している会員もあり、期せずして単身赴任生活等の話が弾み楽しい対話の一夜を過した。

尚小生当日の午後の一時をさいて仙台西郊の県立美術館を初めて訪ね彫刻展や戦争前後の東北地方の写真展等を観賞した。

前述の札幌や仙台への往復は航空便を利用したが、拙宅から大阪空港迄約2時間、又行先の空港から目的地迄相当時間を要することを考えると仙台へは新幹線を利用する方がベターであり、又若干足腰の弱い小生にとって十分余裕のある日程を組むこと、身支度を軽く書類等も別便で送ること等の配慮が不足していたことを心恥かしく思っている。

次に以上の支部総会には仙台を除いて教室の現役の教授から教室近況の報告をして貰つたが、卒業生の就職や教官の異動等は会報の4月号に報告されているので、茲

では最近計画中で2年後には発足する予定の組織制度上の大変革について略記したい。即ち現在迄の学部中心から大学院中心になり(教養部も総合人間学部になる)電気電子系大学院(大講座制)も1学年から大学院迄の全課程の面倒をみるといった大改革が行われる由である。

処で旧制国立大学の研究室の劣悪な研究環境の改善問題については一月号の会報にも述べたが、来年度から予算の若干の増額が計画されてはいるものの、21世紀に向つて理工系人材の養成が緊要な現今では更に抜本的な予算増額と配分法の再検討が肝要であると思われる。

人材教育といえは情報社会での人づくり問題も極めて大切であつて、松尾三郎氏(昭13卒)は20数年前から10数校電子計算機専門学校を全国に設置した上、北海道情報大学と附属の情報教育研究機関等を先般完成し、衛星通信を利用した教育のネットワークづくりを開始された。この問題に関して小生の関係している電気評論の7月臨時号に特別寄稿が載せられているのでご覧頂ければ幸である。

次に第9回洛友デルタ会京都大会が9月6日開催された。これは講習所卒業生(現在総計208名)の隔年毎に開かれる会合で、総会後母

校西川禎一教授の地球環境とエネルギー問題の講演と懇親会等が31名の会員が参加して開かれた。90才から71才迄の元氣な会員の会合で、毎回参加者が減少することは止むを得ないが、それでも出席者は皆かくしやくとしておられ、酌み交す程にカラオケやダンスも面白い方も多く見られたのには、聊か敬服した次第であつた。当夕の近藤副会長の話のように夫々目標をもつて生きがいのある生活を楽しんでおられる様子を伺うことが出来た。最後に小生の音頭で故松田先生の洛友会の歌を神戸幹事長の配慮で会場に流されたテープの歌に合せて全員合唱して小生にとつては同級会のような会を辞した。

さて支部総会を紹介したが、昨



作詞 工学博士松田四郎氏(春日南宮) 昭和二十一年十一月二日(現京都府) 野木内村本寺(現京都府) 現京都府 京師立第二中学校(現南宮) 第三高等学校から京都府立第一高等学校に転校し、その後、現大津大学に入学。その研究業績は、特に電磁現象の理論的・実験的研究に著し、その第一人者として知られる。その研究業績は、特に電磁現象の理論的・実験的研究に著し、その第一人者として知られる。その研究業績は、特に電磁現象の理論的・実験的研究に著し、その第一人者として知られる。

年2月逝去された故松田先生の自作自筆になる歌碑が今年5月洛南八幡市の清水水八幡宮の本殿前広場の一隅にあるエジソン記念碑の近くに同神宮の手で設立された。その歌文は、

「道も狭に椿の花の散り布きて
歩みためらふ八幡の神山
松田南窓」

この歌は会報昨年7月号の清野武氏(昭12卒)の寄稿中にも触れられており、何でも清野画伯(毎年2回以上墨彩画の個展を開催)の椿の絵の額に添えて松田先生が昭和63年1月に書かれた全記歌の書を引伸して幅1米位の四国石に刻んだものである。

この歌碑の表と裏のスナップ写真(平尾松田長生氏提供)を茲に掲載しておく。

話は一寸固くなるがご承知の通り最近の国内外の各分野の情勢の



激変は全く混沌(こんとん)としてい
る。経済界産業界ではフアジー好
況からバブル崩壊により急転落下
してカオス不況に陥った。この景
気低迷は政府の10兆円に上る対策
に依って一部業界は持ち直すもの
の、一般的な回復は来春以降にな
るとの話もあり、家電や自動車そ
の他の業界迄が消費社会の構造的
大変革時代に対応して、技術研究
人材を除いて採用手控えや不要人
材のレイオフにまで波及しかけて
いる。

国際面では昨年の湾岸戦争以後
の中東地域、ユーゴやアフガン地
域の民族宗教戦争、又東北アジア
地域では中韓外交樹立、それにも
増してロシア大統領の来日延期
(中止?)等の大文字の新聞報道が
連続しており、更に今秋11月の米
大統領選挙も予測困難であり、北
方領土問題やロシア政権の将来等
も全くカオス的である。カオスと
言えばプロ野球(セリーグ)の優勝
そして大相撲秋場所の優勝も同じ
で誠に興味深々である。

まだまだ書きたい事(心の健康
問題や京洛だよりその他)がある
が、紙面の余裕も無くなったので
次回に廻すことにする。

本稿を書いている机の傍らにあ
る朝刊第一面に写真入りで「毛利
さん宇宙へ旅立ち、エンデバー打
ち上げ成功、新材料等の実験43件

も」と見出しが目についた。せめ
て宇宙旅行の夢でも見られたらと
ふと思った。

以上いささか長文になったが暇
があれば気楽にお読み頂ければ幸
である。欄筆に当り会員の皆様、

会員寄稿

故竹村清氏と私

常任幹事 近藤文治(昭18卒)

竹村さんが亡くなられてもう3
年が過ぎようとしています。

京都では、夏の風物詩として全
国的によく知られている大文字の
送り火の行事が過ぎると、地藏盆
の行事が持っています。ほぼ町内
を単位にして、街角に祠(ちま)られた地
蔵さんを中心に、幼い子供が集ま
り、ゲームや紙芝居を楽しんだ
り、西瓜割に打ち興じたりして、
楽しい一時を過ごした後、おやつ
を一杯貰って帰る、子供中心の行
事です。8月23、24日の2日間に
わたって開催されるのが普通で、
京都の夏は地藏盆で終わるのです。
平成元年8月の地藏盆も例年の通
り、京都の年中行事としてなんの
事もなく済みました。ところが翌
25日の午後になって、応研から晴
天のへきれき、驚愕のニュースが
飛び込んできました。「竹村さん

特にお世話になった各支部役員そ
の他の方々に心からお礼申し上げ
ると共に皆様のご健勝とご多幸を
祈念する次第である。
(4・9・13記)

藤文治(昭18卒)

が倒れた」一瞬わが耳を疑ったの
ですが、紛れもなく「常任理事竹
村氏が京大構内で倒れ、救急車で
百万遍の北、安井病院に担ぎ込ま
れたが、設備の関係で、直ぐに円
町の近くにある京都市医連中央病
院に移された。病名は急性心不全。
病院に担ぎ込まれたとき心臓は完
全に停止していて、人工呼吸や
摩擦では快復せず、電気刺激を直
接心臓に与えることによって蘇生。
意識不明の重体。無菌室に収容さ
れていて、家族でさえ面会は不可
能」と言う。誤報であれと言うは
かない望みも消えて、われわれは
冷酷無慈悲な事態に直面したこと
を知りました。心臓停止の時間の
長さが明らかではないので、確か
なことは言えませんが、意識回復
の見込みは極めて薄いが、われ
われ素人にも容易に憶測できま

した。

竹村さんは最近暑さのせいとか、
医者から注意されていた心筋梗塞
がはかばかしくなると、一週間程
前から行き付けの三菱病院に入院
して検査を受けておられました。

検査の結果は格別心配するほどの
ことではないとのこと、近く退
院されると伺っていましたが、退
院の翌日25日から応研に出勤され
るとは聞いていませんでした。奥
様は後で聞いたことですが、家族
の方々は「2、3日家で静養して
から出勤しては」としきりに勧め
られたらしいのです。ところがそ
の日は洛友会名簿に掲載する広告
の原稿の締切日だったので、責任
感が人一倍強い竹村さんは、家族
の制止を振り切って出勤されたの
でした。ただ何時もは軽自動車を
自ら運転して通勤されていました
が、この日は家族の忠告を受け入
れて、自動車はやめてバスで出勤
されたのです。

出勤後暫くしてから、洛友会の
用件で電気系教室へ行くと言って
自転車に乗って出かけたらしいと
です。夏の強い日差しを炎天下を、
途中百万遍の郵便局に立ち寄って、
百万遍の門から京大の構内に入り、
少し行つて左に折れ、東門に通じ
るから坂の道を、ペタルを踏
み踏み登って行かれたのです。若
い人でも体に応える残暑は、可な

りの老齢でしかも退院早々の竹村さんには相当応えたいと思います。土木教室を過ぎ建築教室に差し掛った所で、力尽き転倒されたようです。建築教室の助教の方が見つけ、最寄りの教室である電気系教室の事務室に通報、竹村さんと分かってから大騒ぎになったのです。その後の始末は既に書いた通りです。

竹村さんは、病院では無菌室に収容され、ご家族でさえ医者と同道される場合を除いて、病室に入ることは許されず、私が伺った時も、担当医に特別頼み込んで許して貰ったのです。入室に当たっては、白衣に着替えキヤップを被るなど完全武装をさせられました。付き添ってくれた医者から容体について説明を受けましたが、既に奥様から伺っていた以上のものはありませんでした。尋ねたいことは一杯ありましたが、返ってくる言葉が恐しくそれでもできませんでした。ご本人は全くの無意識で何の反応もないのですが、縁者の欲目と言うのか、体のどこかがピクリと動くのを見て医者顔を覗いても、医者はただ頭を横に振るばかりです。なんとかして上げたいと思ってもどうにもならない無力感に打ちひしがれ、切なく居たたまらない気持ちで病室を後にした次第です。それでも奥様や娘さんの手

厚い看護で、とても持つまいと思われた容体でしたが、倒れられてから2ヶ月半後の11月10日、ご家族や周囲の人々の切なる願いも空しく、意識の回復を見ないまま、永遠に帰らぬ人となられたのであります。74才でした。

さて竹村さんは、応用科学研究所の常務理事として、理事長の私を助けて頂いただけでなく、洛友会の常任幹事として、私を助けて洛友会の事務処理に寝食を忘れて打ち込んでおられました。そして洛友会の仕事の最中に倒られたのです。洛友会をこよなく愛しておられた竹村さんにとっては、その死はあるいは本望だったかも知れませんが、私には悲壮とさえ思われるのです。亡くなられた当時、竹村さんに最も近かった私が、真つ先に追悼文を書くべきだったのですが、ショックは余りにも大きく、とても筆を持つ気がしなかったのです。加えて勤務先の大阪電気通信大学で大学院創設に奔走していたうえ、逝去にとまなう洛友会事務の後始末で、とても原稿を書く余裕がありませんでした。今になってみれば大変申し訳ないことをしたとごんきの念に堪えませぬ。今やつと当時の不義理を果たすべくこの拙文を綴っている次第です。

さて前置きが大変長くなりまし

たが、竹村さんの思い出を少し記してみたいと思います。私が京大に入学したのは、第2次世界大戦の始まった昭和16年の春4月でした。昭和13年に講習所を卒業された竹村さんは、既に鳥養研究室の助手ではなかったかと存じます。

学生実験でお世話になった記憶が微かに残っていますが確かではありません。卒業研究の指導は林重憲先生で、同じ鳥養門下ではありましたが、林先生は独立して担当しておられ、テーマの関係で竹村さんの居られた高圧実験室に顔を出すことも殆どないまま過ぎてしまいました。昭和18年10月、卒業と同時に特別研究生として大学院に入学しましたが、その指導教授が鳥養先生でした。竹村さんをハッキリと知るようになったのはその頃からです。背はお世辞にも高いいとは言えませんが、丸顔で大声で喋られる元氣溢れた人と言うのが当時の印象でした。この印象は最後まで変わりませんでした。「常に明るく、仕事一筋にファイトを燃やし、誠実をモットーに駆け抜けた74歳の人生」。竹村さんは、こんな言葉がふさわしい人生を送られた方でした。



私と竹村さんの関係が決定的なものになったのは、さしもの大戦も敗戦という悲惨な結果に終って間もない昭和20年10月、大学院特別研究生の前期課程を終えた私が、講師に任ぜられたときでした。その時私は学生実験の弱電担当を言われ、私のパートナーに竹村さんが助手として手助けをして下さることになったのです。卒業したての新興講師の私は、弱電回路の理論ならいざ知らず、実験に必要な回路の実際についての知識は甚だ怪しいもので、竹村さんには大変お世話になりました。終戦直前は、1年生を除いて2、3学年の学生は、大津市石山の日本電気の工場に動員されて、大学の講義はなく、学生実験は長い間実施されていませんでした。前任者の清野先生から引継いでからは、夜遅くまで竹村さんと2人で実験再会に向けて悪戦苦闘の毎日でした。中でも真空管と電池の整備は、長い間の空白期の間に、散逸したり駄目になっていたりして、新品など全く購入できない時代でしたから、かき集めるのに大変苦労しました。

しかし竹村さんは、助手としてのキャリアに物を言わせ、その間に築かれた人脈を通して、どこからともなく必要な品物を集めると言う才能を発揮、10月初め(？)にはやつと実験再会に漕ぎつけたので

した。そして1ヵ月程はこともなく過ぎたのですが、ある日虎の子の真空管を全部盗まれて、敢えなく実験中止と言う事態に追い込まれたのです。泣くに泣けないとはこのようなときの気持ちを指すのでしょうか。さすがの竹村さんの神通力をもってしても、何本かの真空管はどうにもならず困り果ててしまいました。ところが窮すれば通じると言いますが、妙案が浮かびました。私の中学校時代、物理の先生が教師を辞め、会社に行かれたということがありました。

その先生が、京大の電気の学生が戦争中動員されていた日本電気の石山工場に、真空管工場の製造課長(？)でおられると言うことを、風の便りに聞いたことがありますが、その時私はまだ一介の京大生で、大変懐かしく思いましたが、お会いするのもおこがましく遠慮してしまいました。しかし今は私も京大の講師であり、しかも専門を同じくする身であって、事情が事情だけに、真空管の無理を聞いて頂けるのではないかと考え、意を決してお訪ねしました。

当時真空管は大変貴重な品物で、「真空管一本、米一升」と言われていました。毎日沢山の人が食う米もなく餓死し、米は命より大事とされた時代です。それ程貴重な米一升と真空管一本とが物々交換

されていたのです。真空管が如何に貴重だったかご理解頂けると思いますが、ですから「真空管を何本か下さい」などと簡単に言えたものではないのですが、先生も僕のことを覚えておられて、快くご利用して頂きました。地獄(じごく)にあってた心地で、人の善意の有難(ありがた)さに頭の下がる思いがしました。お陰で無事実験を再会することができました。善意と言えば、竹村さんも善意の塊(かたまり)みたいな人で、人の面倒見がよく、曲(まが)ったことのできない、まさに「善人」と言うにふさわしい人でした。

その後間もなく鳥養先生が総長になられ、その後を林先生が継がれたものですから、竹村さんと私の関係は、一層密になりました。竹村さんだけではなく、当時鳥養研究室に属しておられた多くの講習所出身の助手の方々とも親しい付き合いが始まりました。その頃こんなことがありました。一度学生実験の仲間(仲間)で慰労会をやるうと言(い)うことになりました。まだ全ての生活物資が配給(きびく)で、お酒もなければおつまみもない時代ですから、



どういうことになるのかと案じていましたら、計器室の北側の畳敷の部屋(戦争中は宿直室に使われていました)を宴会場にして、コンロを持ち込み準備が始まりました。まず真つ黒に煤(すす)けたやかんでお湯を沸かし、お酒の燗(ぬる)をするのではなくて、温度を見計(みか)って、どこで手に入れたか取(と)って置きエチールアルコールを適量放り込み、お茶の葉っぱを少し入れて、ハイお酒のでき上がりと言う訳です。お酒にあまり強くない私は、お酒のこのような醸造法は全く知らず大変驚きました。お茶(ちや)っぱは色と風味を付けるためのもの(のだ)そうです。おつまみはどうしたのか記憶(きおく)がありませんが、恐(おそ)ろく焼き芋(いも)か何んかではなかったかと思(おも)います。宴(うたげ)たけなわともなれば話題(たひだ)は決(きま)って食べ物(たべもの)の話(わたり)、ズルチンやサッカリン(いづれも甘味料、大麥(あま)甘い物に飢(う)えていました)の作り方、エチールアルコールとメチールアルコールの見分け方と分溜(ぶんりゅう)の方法など話題(たひだ)は尽(つ)きませんでした。その時間(じかん)いた(いた)こんな話が記憶(きおく)に残(のこ)っています。化学のある教室で、某教授(たか)はエチールアルコールを実験室に置いておく(と)飲(の)まれてしまうので、自分の部屋(へや)に持ち込み、瓶(びん)にメチールアルコールと書いて保管(たも)んされたが、いつの間(いつのま)にか忘れてしまい、暫(しばらく)く経(た)ってから取り出した

ら、誰(たれ)が飲(の)んだのか、中身(なかみ)はスツカリ蒸発(じやうぱつ)していたとか。教授(たか)ニヤニヤしながら曰(い)く「さすがに化学の奴(やつ)メチールと書いてあるのにエチールだと見破(みやぶ)ったのはあつ晴れ」と。

竹村(たけむら)さんは晩年(ばんねん)胃潰瘍(いさいやう)をやつてから、ピタリと酒(さけ)を断(き)られたが、若いときは酒豪(さけごう)と言う程(ほど)ではないにしても相当(たうたう)好き(す)きで、可(か)なり量の酒(さけ)を嗜(たの)まれた。酔(よ)えば談論(だんろん)風発(ふうはつ)。前橋(まへはし)へ雷(かみ)の観測(くわんそく)にいつたときのこと、ちよつと度が過(か)ぎて、仲間(なかま)と一緒に、自転車(じてんしゃ)の飲酒(のんしゆ)、無灯火運(むとうかうん)転(ころ)や二人乗(ふたりり)り、それにくわえタバコ(終戦(しゆうせん)近く(ちかく)の頃(ころ)、前橋(まへはし)ではくわえタバコで町(まち)を歩く(ある)ことは禁止(きんじ)されていた)と幾(いく)つかの罪状(ざいじやう)で、お巡(めぐ)りさんとしよつちゆう口論(くわんろん)をしたこと(こと)は決(きま)してなかつたことを証明(しょうめい)します。敢(あ)えて本人(ほんにん)らの名譽(なご)のために付け加(く)えておきます)竹村(たけむら)さん、あれは仲間(なかま)が悪(わる)かつたですよ！

竹村(たけむら)さんは、その後間(ごのち)もなく大(お)学(がく)を辞(や)め、暫(しばらく)くしてから上西亮(かみせりやう)二先生(せんせい)(竹村(たけむら)さんは勿論(もちろん)のこと、私も教(お)えて頂(たま)いた先生(せんせい)です。昭和(しやうわ)6年(ねん)卒業(くわつぎ)の先輩(せんぱい)、電気教室(でんききょうしつ)の講師(こうし)から鳥津製作所(とりづせいさくじよ)へ、同社(どうしゃ)の社長(しゃちょう)、会長(かいちょう)を経て現(いま)在(ざい)相談役(さうだんやく)のお世話(せわ)で、

鳥津(とりづ)の子会社(こがいしゃ)日本電気機械株式会社(にっぽんでんきけいこくがくがいはうし)社(しゃ)(現在の日本電子科学株式会社(にっぽんでんしにがくがいはうし)の前身(ぜんしん)に入社(にゅうしゃ)されました。かくして、竹村(たけむら)氏(うぢ)と私(わたし)とのコンビ第一幕(だいいまく)は閉(と)じたのです。竹村(たけむら)さんは、その後(ごのち)同社(どうしゃ)の取締役(とくさつやく)兼(かね)製造部長(せいぞうぶちやう)を経て、昭和(しやうわ)57年(ねん)5月(げつ)退社(たいしゃ)されました。その間(ま)も洛友会(らくゆうかい)やデルタ会(でるたかい)の行事(こうじ)で、始終(しじゆう)お目(め)に掛(か)つていましたので、竹村(たけむら)さんと私(わたし)との関係(かんけい)は

電気系教室だより

**京大ー阪大電気系教室
交歓スポーツ大会報告**

本年(ねん)が第35回目(たひだ)となる恒例(こうれい)の京大(きやうだい)ー阪大(はんだい)電気系教室交歓(かうかん)スポーツ大会(たいかい)は、夏休(げっけい)み初日(はつじつ)の7月13日(にち)(月(げつ)の午後(ごご)、阪大(はんだい)主催(しゆさい)のもとで開(ひら)催(くわい)されました。昨年(さくねん)同様(どうじやう)、関西電力(かんさいでんりき)のご好意(ごこうい)により、同社(どうしゃ)の水無瀬(みづせ)体育施設(たいいくしせつ)をお借り(か)りして、広々(ひろひろ)とした環境(かんげい)のなかで5種目(ごしゆ)全競技(ぜんけうぎ)が行(な)りなされました。

本年度(ねんど)は諸般(しよかん)の事情(じやうけい)から月曜日(げつようじ)の開催(かいさい)となりましたが、京大(きやうだい)からは3教室主任(しやうしん)をはじめ約70名(なま)、阪大(はんだい)からも70名(なま)を越(こ)える参加者(さんかしゃ)を得(え)て、活気(かつき)あふれたスポーツ大会(たいかい)となりました。

疎遠(そえん)になったと言(い)う感じ(かんじ)はありませんでした。(この継(つ)ぎは次の一月(いちげつ)号(ごう)に掲載(たいてい)させていただきます。)

場(ま)向(む)かう途中(ちゆうちゆう)で一(いち)時雨(ときり)も降り(ふ)りましたが、幸(さい)ひ試合開始(しあひかいかいし)頃(ころ)にはほほ雨(あめ)もあがり、全競技(ぜんけうぎ)とも支障(しじやう)なく行(な)うことができました。

京大(きやうだい)側(がわ)参加者(さんかしゃ)は午後(ごご)0時20分(じゆ)前に、バス2台(だい)に分乗(ぶんじやう)して京大(きやうだい)正門(せいもん)前(まへ)を出発(しゅつぱつ)、約45分(ぶん)後(ご)、勇躍(ゆうやく)して水無瀬(みづせ)体育施設(たいいくしせつ)に乗り込みました。

やや遅(おそ)れて、阪大(はんだい)側のバスも到着(たつじやく)し、午後(ごご)1時30分(じゆ)頃(ころ)より、阪大(はんだい)大石(おおいし)浦講師(うらこうし) (京大(きやうだい)大情報出身(おほいさくほうしゆ)の司会(しはい)のもの)と、開会式(かいけいしき)が行(な)われました。

まず阪大(はんだい)側(がわ)電気系4教室(でんきけいしやう)を代表(だいひやく)して白川教授(しらかわこうじゆ) (情報システム主任(じゆんしん))が同教授(どうこうじゆ)の学生時代(がくせいじだい)の京大(きやうだい)ー阪大(はんだい)スポーツ大会(たいかい)の話(わたり)をまじえ、伝統(でんてん)ある大会(たいかい)の意義(ぎぎ)を讀(よ)んだ歓迎(かんげい)の挨拶(あいさつ)をされ、これを受けて京大(きやうだい)側(がわ)電気系3教室(でんきけいしやう)を代表(だいひやく)して卯本教授(うもとこうじゆ) (電気主任(でんきしん))が挨拶(あいさつ)をされました。

優勝杯(ゆうせうはい)返還(へんたい)の後(ご)、直(ただ)ちにグラウンド(グラウンド)と体育館(たいいくかん)に分(わ)かれて各競技(かくけうぎ)が開(ひら)かれました。



蒸し暑い天気でしたが、各競技場には老若男女の歓声がこだまし、参加者全員気持ち良い汗をかいたことができました。特に京大側チームは昨年(4敗1引き分け)の屈辱を胸に期して、各会場で熱戦を繰り広げました。

その結果、京大が野球とバレーボールで快勝し、昨年の屈辱を果たしましたが、ソフトボール、テニス、卓球につきましては、最後の追撃が今一歩及ばず、誠に残念ながら総合成績2対3で惜敗しました。

野 球 京大14ー13 阪大
ソフトボール 阪大10ー7 京大
テニス 阪大7ー2 京大
バレーボール 京大2ー0 阪大
卓 球 阪大11ー4 京大
スポーツ大会終了後、午後4時30分より施設内の食堂で懇親会が盛大に行なわれました。阪大の尾浦教授の開会の辞、京大の吉田教授(電子主任)の挨拶、阪大の青木教授の乾杯に始まり、和やかに歓談が行なわれました。途中、戦績報告が行なわれ、各種目の勝利監督に阪大の白川教授より優勝杯が授与されました。優勝杯になみなみとビールを注ぎ込み一気飲みする者も現われ拍手喝采のなか、両校競技監督による勝者、敗者の昇さらには殊勲選手の紹介等が続き、和気あいあいとした雰囲気の中で、

京大ー阪大両電気系教室間の親交をより一層深めることができました。全員名残りが尽きませんでした。最後に京大木村教授(電2主任)のお礼と次年度の開催を約束する挨拶があり、阪大鈴木教授の閉会の辞をもって、午後6時に散会となりました。

マイク口波で空を飛んだ

松本 紘 (昭40卒)
超高層電波研究センター長

電子レンジに使われているマイク口波を地上から送り、そのエネルギーで模型飛行機を飛ばす京大超高層電波研究センターや文部省宇宙科学研究所などの共同実験が8月29日(土)朝、神奈川県横須賀市夏島町の日産自動車追浜試験場で行われ、40秒間の飛行に成功した。世界でも2例目で、人口衛星に代わる電波の中継基地や環境観測、災害監視システムなどに利用できる。

機体の下に120個の円形アンテナを取り付け、受信したマイク口波を整流器で電流に変え、プロペラのモーターを動かす仕組み。マイク口波を送り続けられ、燃料なしで長時間の飛行も可能だ。このシステムが実用化すれば、

その後、京大側はほぼ全員バスに乗車し、ほろ酔い気分の中、来年こそはとの思いを胸に、祇園祭りの鉦が建ち並びかけた京の街なみを通り抜けて、午後7時頃京大正門前に到着し解散致しました。(昭46年卒吉田進記)

観測機器を積んで、二酸化炭素の測定など地球環境の監視をしたり、集中豪雨をもたらす雨雲の監視ができるようになる。また、通信衛星の代わりとして、自動車電話、携帯電話の中継ぎに利用できる。実験では、離陸から上昇の間は飛行機に積んだバッテリーでプロペラを回し、高さ10米で水平飛行に移ったところで、車に積んだ送電器から1.25KWのエネルギーのマイク口波を送った。飛行機は上昇や下降を繰り返しながら飛行を続けた。この研究は欧米で盛んで20分間の飛行例がある。

マイク口波は最も波長が短い種類の電波。テレビのUHF放送の電波もこの中に含まれる。これより波長が短くなると、遠赤外線、赤外線といった光になる。電子レンジで加熱用に使われているように、離れた場所にエネルギーを伝えるのに適している。(8月29日朝日新聞夕刊よりMILAX計画実験成功のニュース)

支部総会報告

中国支部役員改選通知

平成4年度洛友会中国支部総会において左記の通り役員の改選がありましたのでここに通知致します。

| | | |
|-----|---------------|---------------|
| 支部長 | 昭16 松谷健一郎(留任) | 昭44 松本博之(留任) |
| 幹事 | 昭30 秦 裕夫(退任) | 昭45 大森幹司(退任) |
| | 昭31 井上幸夫(退任) | 昭46 森下保雄(新任) |
| | 昭35 川村 修(留任) | 昭47 佐々木隆雄(退任) |
| | 昭38 博水上孝一(留任) | 昭48 六信正文(留任) |
| | 昭38 牧 征滋(新任) | 昭48 中野直文(新任) |
| | 昭40 細田順弘(新任) | 昭53 平田健志(退任) |
| | | 昭53 前田耕一(新任) |
| | | 昭58 井上利男(留任) |
| | | 評議員 |
| | | 昭30 秦 裕夫(新任) |
| | | 昭31 井上幸夫(新任) |
| | | 庶務幹事 |
| | | 昭58 井上利男(留任) |

中国支部総会

平成4年5月28日(木)三井ガーデンホテル広島において、平成4年度洛友会中国支部総会が開催されました。

総会は、本部より大谷先生、教室より岡田先生をお迎えし、中国地方各地より、真田顧問、松谷支部長をはじめ約30人の会員の参加を得て、盛大に実施された。

岡田先生には、総会に先立ち、中国電力(株)において、超電導発電機に関する講演をしていただきました。

実系統への並入試験を始められたばかりの最新の内容を、わかりやすく説明して頂き、聴講者は皆真剣にお話(はな)に聞き入っていました。総会は牧幹事の司会で、松谷支

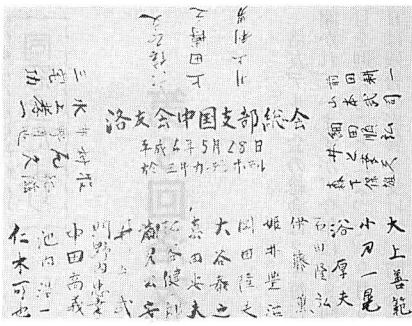
部長の挨拶から始まりました。まず支部事務局から、一部役員の改選案の説明、会計報告、予算案説明をおこない、満場一致の承認を得、続いて、支部活動状況と会員の移動状況について報告をしました。

次に大谷先生から本部や他支部の状況報告を、岡田先生から教養部の廃止や大学院中心の教室運営への移行予定等の教室報告を頂きました。

議事が滞りなく終了し、別室での写真撮影の後、懇親会へ移りました。久しぶりに顔を会わせた参加者達の間では話が弾み、会は大いに盛り上りました。

午後8時頃、なごりはつきませんでしたが、時間となり来年の再会を誓って散会となりました。

(昭和58卒 前田耕一記)



北海道支部総会

平成4年6月12日(金)、札幌市内のパークホテル「ローザンス」において、平成4年度の洛友会北海道支部総会を開催した。

本総会には、本部より大谷会長代行、電気系教室より藤田茂夫教授を迎え、支部会員9名が出席した。(写真参考)

この度、本部役員の大谷泰之会長(本部総会以降先生をお迎えして支部総会を開いたのは、昭和29年支部発足の際、加藤信義先生ご来札以来のこと)、大谷先生には御高齢にも拘わらず、また御多忙のところ御光臨賜わったことに厚く御礼申し上げます。

さて、総会は支部長挨拶で始めたが、初めに本年2月、本部役員会の報告を行ない、特に大谷先生の会長ご就任を全員拍手で祝福申し上げた。議事については最後に、本年度支部役員の留任を決めたのみで、特に重要な議題はなかった。次に、懇親会に移り大谷先生のご挨拶並びに藤田先生から教室の近況報告があった。

大谷先生と北海道支部の水野正光副支部長とは、昭和13年卒の同

じクラスメイトとの紹介があり、お二人の懐旧談にしばしば爆笑が起こり、和やかな雰囲気であった。

後列右より 前列右より

- 木元(平3) 藤田先生
- 中山(昭33) 大谷先生
- 西村(講昭12) 水野(昭13)
- 芝山(昭28) 池内(昭21)
- 土橋(昭34) 谷村(昭31)
- 谷村(昭31) 林(昭37)



東北支部総会

第27回洛友会東北支部総会は7月4日(土)仙台市のホテル白萩で開催された。

今回は本部より大谷先生をお迎えし、支部会員も10名としばらくの2桁出席となった。

平成3年度の行事、会計報告、役員改選の後、懇親会に移り、大谷先生よりは本部の状況および終戦時の裏話し等、興味あるお話しに時のたつのも忘れ、迫る時間になごりを惜しみつつ午後7時30分散会した。

尚役員は下記の通り決定した。

- 支部長 三上 謹五(昭21)留任
- 副支部長 大家 寛(昭34)留任
- 幹事 井上 茂(昭48)留任
- 秋山 康人(昭57)退任
- 伊藤 篤(平1)退任
- 宇野 茂道(昭6)留任
- 山下 實(昭7)留任
- 川宇田 孝吉(昭8)留任
- 鈴木 大左衛門(昭15)留任
- 阿部 鐵郎(昭21)留任
- 三橋 堯(昭32)退任
- 下篠 和俊(昭53)新任
- 評議員

藤田先生には現役の教授として、昨今の困難な大学改革問題に取り組まれ、その現状について大いに熱弁を振るわれた。今後のご活躍が期待された。

続いて支部会員側から自己紹介をかねてスピーチ、歓談となり時間の経つのも忘れて和気あいあいの中に有意義な懇親会の宴を閉じた。

この度の北海道支部総会開催に当っては、芝山幹事を始め、北海道電力(株)の中山道夫氏と谷村實

氏に特段のご支援、ご協力を賜わったことを付記し感謝の意を表する。尚、本総会直後、水野正光氏には東京へ転居されることになり、北海道副支部長を辞任された。したがって支部役員は次の通りとする。

- 支部長 昭21卒 池内 義則(留)
- 幹事 昭28卒 芝山 龍一(留)
- 昭34卒 土橋 多一郎(留)
- (池内記)

同窓会だより

第9回洛友デルタ会総会

洛友デルタ会の総会は2年毎に開かれていますが、今年は第9回目を迎えることになった。9月6日は残暑の影響を受けて、晴天に恵れて幸運であった。当日は東は、浜松、西は九州宮崎から会する同窓生総数31名、会員の老齢化が進み毎回出席者が減少することは淋しいことである。総会々場である鴨川河畔の近畿地方発明センターに集合し、定刻1時より大沼大氏(昭15卒)司会のもとに開会。同氏の開会の辞に続き、今は無き恩師並びに会員に対し、哀悼とご冥福を祈り黙祷を捧げた。続いて幹事長神戸俊夫氏(昭14卒)から第8回総会以降の経過報告がなされた。

(1) 洛友デルタ会代表越坂延夫氏(大10卒)が平成4年2月13日逝去されましたので後任の代表について、幹事会で協議の結果、藤村俊一氏(昭11卒)を推薦することにナリ会員各位の承認を得た。

(2) 米寿、喜寿の方々へのお祝毎年米寿、喜寿を迎えられた方々



にはお祝として米寿の方には金杯、喜寿の方には金箸を敬老の日がある月の始めにお送りしている。現在生年月日不明の方には別途調査

票を送付するのでご回答下さい。

(3) 当年度物故者へのお供え
毎年当年度の物故者には春の彼岸前にお線香を送っている。

次に平成2年、3年度の決算報告が市川盛治氏(昭13卒)から行われ、これらに対しても出席者一同の承認を得た。

洛友デルタ会代表となった藤村俊一氏の挨拶がありこの後、木村広美氏(昭12卒)が閉会の辞を述べられた。総会は午後1時45分無事終了した。

引継ぎ「地球環境の現状と近未来」と題して京大電気系教室の西川禎一教授の講演が行われた。先生はスライド、OHPを駆使して20世紀は科学技術文明の時代であり、我々人類は様々な技術開発の恩恵を蒙って飛躍的な経済発展を遂げたのはエネルギーのお陰である。20世紀の燃料は主として石炭、石油、天然ガスといった化石燃料である。この化石燃料の大量消費は大気質に少なからざる変化をもたらした。SOxやNOxの排出に大気汚染と酸性雨(霧)、さらに現今議論の高まってきたCO₂による温暖化現象についての説明と環境の現状と問題点、新しい技術開発の方向と可能性等の貴重なお話を聞き深い感銘を受けた次第です。

午後5時半、会場を懇親会場である「石長松菊園」に移した。懇

親会に先立ちご来賓の大谷会長、近藤副会長、西川先生と矢木原幹事を中心に京舞妓を交えて、一同記念撮影をおこなった。

午後6時、上野満氏(昭15卒)司会のもとに開宴挨拶に続き、大谷近藤両先生の祝辞を戴き、大谷先生の音頭で一同乾杯した。いよいよ開宴、出席者は大正14年卒業から昭和15年迄総員31名。ほどほどに酔ひ、年を忘れ過ぎし青春時代にもどりの、時のたつのも忘れて歓談に花が咲いた。松田先生作詞作曲の洛友会の歌を一同合唱して、

午後8時半に清水寿栄次氏(昭5卒)が閉会の辞で終えた。同ホテルに宿泊する者、家路へ向う者そ

三十周年記念クラス会

昭和37年卒の30周年記念クラス会を、好天に恵まれた去る7月25日(土)に日本最古の湯の町、有馬温泉の「奥の坊」で開催しました。午後3時頃から三々五々参集し、久しぶりの再会を喜び合い、近況を話したり入浴するなどしてくつろぎました。

午後6時から恩師の御光来を仰いで懇親パーティーを開始、恩師

日橋 塔 神戸俊夫 清水由良
久須美香一 市川盛治 内山 茂
植村寿雄 木村広美 田中俊雄
又三三三 名井丁 大槻 文夫
小山 正彦 田 力
洛友デルタ会
九周年 於 石長松菊園
平成四年九月六日
本園三 福留幸平 瑞浅 幸雄
藤村俊一 阿場 秀夫
清水寿栄次 菅定房
安嶋 勉 上野 満
二田 史 堀 小吉
藤村俊夫 大沼 大氏

れぞれの思いを胸に秘めて次回の再会を約して袂を分けた。

(神戸俊夫記)

から忙しい年代にこそ老後何をやるかを考え、その準備を進めるべしとの御示唆を頂き、卒業生一同肝に銘じつつ自己紹介に移りました。続いて9時まで恩師を囲んで学生時代の思い出話やカラオケを楽しみ、なつかしい「琵琶湖周航の歌」「逍遙の歌」を合唱しました。最後に恩師の音頭で一同の健康と発展を祈念して万歳三唱の後お開



京都大学電気電子工学教室昭和37年卒同窓会 平成4年7月25日 設 在馬場原の坊



きとなりました。その夜は全員宿泊し、遅くまで談笑して愉快な時間を過ごしました。

翌朝大広間にて朝食の後、再会

を約束して解散しました。

出席者は左記の通りです。

恩師、清野武先生、田中哲郎先生、池上淳一先生、坂井利之先生、卒業生、(敬称略)浅野尚、芦谷正裕、荒牧達、乾芽彰、内田頼利、杉田繁治、田中潤次郎、佃作郎、

林一三、藤江恂治、松尾壹郎、三品英二、水田芳男、村井裕、山下道也、佐々木俊六、菅居正道、竹井大輔、竹居敏夫、竹井理、内藤誠、新美康永、原健彦、原田實、馬場征彦、松波弘之、吉田靖夫 (村井記)

昭和42年卒二十五周年

クラス会

8月1日(土)東京、ストラダ新宿において、清野武先生、田中哲郎先生、近藤文治先生および池上淳一先生をお迎えして、昭和42年卒二十五周年クラス会を開催しました。

今回は東京での開催年にあたりましたが、関西方面から多数の参加を得て、38名(ご夫人1名を含む)という盛況でありました。

まず、先生方からご挨拶を頂いた後、清野先生の乾杯のご発声で会をスタートしました。先生方との学生時代の思い出話や近況等在花が咲き、時を忘れ歓談しました。最後に全員で三高寮歌を歌い、再会を約し解散をしました。なお、同窓の稲生公君の逝去に対し参加者全員でご冥福を祈りました。

(來山征士記)



会員住所変更一覽表

平成4年8月31日現在 (表中略敬称)

Table with 5 columns: 卒業年, 氏名, 住所, 電話, 電話. Lists members and their contact information.

| 卒業年 | 氏名 | 住所 | 番 | 電話 |
|------|-------|--------------------------------|--------|--------------|
| ㊦351 | 長崎治夫 | 北九州市八幡西区浅川台3-15-6 | 807 | 093-603-1693 |
| ㊦361 | 前川則夫 | 上尾市上1588-8 | 362 | 048-772-8052 |
| ㊦371 | 山下道也 | 金沢市北安江1-11-7 エルプラド金沢207 | 920 | 0762-63-9733 |
| ㊦372 | 原健彦 | 水戸市堀町2069-2 | 310 | 0292-51-2102 |
| ㊦381 | 松本修文 | 飯塚市大字幸袋781-307 | 820 | 0948-24-6312 |
| ㊦382 | 中村英毅 | 東京都世田谷区岡本2-35-1-307 | 157 | 03-3708-5415 |
| ㊦391 | 新谷定則 | 横浜市戸塚区波沢町4-31-1 | 245 | 045-881-2849 |
| ㊦392 | 黒田朔郎 | 八幡市橋本新石14-16 | 614 | 075-982-7331 |
| ㊦403 | 辻芳寿 | いわき市平田城跡21-6 レジデンス百沢202 | 970 | 0246-24-3657 |
| ㊦403 | 細田順弘 | 広島市安佐南区高取北4-40-17 | 731-01 | 082-878-4069 |
| ㊦412 | 島崎真昭 | 福岡市東区千早5-4-4-501 | 813 | 092-682-3611 |
| ㊦413 | 菊井量昭 | 横浜市港南区上大岡東3-10-37 | 233 | 045-846-2790 |
| ㊦421 | 福田豊生 | 西宮市大谷町11-35-434 | 662 | 0798-22-2776 |
| ㊦422 | 熊原光男 | 神戸市垂水区星ヶ丘1-1-28-608 | 655 | 078-707-9552 |
| ㊦422 | 杉本健徳 | 東京都文京区本郷1-33-12-502 | 113 | 03-3818-0773 |
| ㊦423 | 石橋文徳 | 桑名市蓮花寺1049-11 | 511 | 0594-23-2179 |
| ㊦423 | 細川浩 | 高松市花の宮町3-3-4 | 761 | 0878-68-6894 |
| ㊦432 | 増田裕一 | 西宮市甲子園五番町3-9-203 | 663 | 0798-42-0591 |
| ㊦433 | 岡里晃 | 千葉市花見川区朝日ヶ丘町3261 にれの木2-11-302 | 262 | 043-271-9040 |
| ㊦441 | 吉田昌春 | 岐阜市福富天神前380-1 | 501-25 | 0582-29-5821 |
| ㊦441 | 畑田稔 | 海老名市国分北3-12-17 | 243-04 | 0462-32-3099 |
| ㊦442 | 長沢光英 | 海老名市国分北1-2-7-301 | 243-04 | 0462-34-2823 |
| ㊦451 | 山崎芳次 | 交野市星田西3-11-4 | 576 | 0720-93-5630 |
| ㊦452 | 北河潤 | 広島市南区宇品西4-4-18-402 | 734 | 082-252-0583 |
| ㊦452 | 工原美樹 | 交野市星田西3-1-10 | 576 | 0720-92-5020 |
| ㊦452 | 瀬川佑次郎 | 千葉市稲毛区稲毛台町7-12 | 263 | 043-243-5028 |
| ㊦452 | 山下幹雄 | 札幌市白石区栄通14-2-12-305 | 003 | 011-854-3306 |
| ㊦453 | 相賀良久 | 松戸市西馬橋2-17-10 | 271 | 0473-45-9536 |
| ㊦453 | 山崎進 | 岡山市絵図町3-16 メゾンティアラ301 | 700 | 0862-55-1767 |
| ㊦461 | 石川本雄 | 宇治市五ヶ庄三番割18-1 | 611 | 0774-32-9769 |
| ㊦461 | 岩間之三 | 箕面市粟生間谷西1-4-3-105 | 562 | 0727-29-1097 |
| ㊦461 | 中村勤 | 宝塚市雲雀丘山手1-4-36 | 665 | 0727-58-6485 |
| ㊦463 | 岡本哲郎 | 横浜市緑区加賀原1-24 シンフォニックビルズ4-304 | 194 | 0427-27-8807 |
| ㊦463 | 梶田武良 | 名古屋北区若葉通3-8-2 エステート若葉202 | 462 | 052-916-4344 |
| ㊦463 | 成松洋全 | 神戸市西区月が丘5-34-5 | 651-22 | 078-994-3410 |
| ㊦463 | 西門岩 | 東京都港区高輪4-4-13-221 | 108 | 03-3440-7457 |
| ㊦471 | 中村道昭 | 福岡市早良区百道2-4-45-156 | 814 | 092-846-5651 |
| ㊦481 | 井上茂 | 宮崎県牡鹿郡女川町旭ヶ丘2-12-6 | 986-22 | 0225-53-2642 |
| ㊦481 | 石井日出男 | 福岡市南区中尾2-28-3 | 815 | 092-542-7632 |
| ㊦481 | 黒住幸一 | 川崎市宮前区平2-12-10-504 | 216 | 044-855-8481 |
| ㊦481 | 出口忠夫 | 横浜市緑区奈良町2864-3 モアクレスト玉川学園3-710 | 213 | 045-961-2795 |
| ㊦481 | 永井寛 | 群馬県北群馬郡榛東村新井1027-1 | 370-35 | 0279-54-0758 |
| ㊦481 | 武藤敬 | 多治見市西坂町1-209 | 507 | 0572-25-6803 |
| ㊦482 | 児玉富士夫 | 国分市中央4-15-15 | 899-43 | 0995-47-0757 |
| ㊦482 | 四方進 | 神戸市西区春日台4-10-4 | 651-22 | 078-961-2197 |
| ㊦482 | 住田哲夫 | 田無市向台町2-13-18-205 | 188 | 0424-69-9368 |
| ㊦482 | 宮岸外志久 | 松本市並柳122-6 | 390 | 0263-25-7194 |
| ㊦482 | 岩本卓史 | 松山市竹原4-4-8 | 790 | 0899-72-2988 |
| ㊦483 | 古谷正博 | 小平市上水本町5-17-5-3 | 187 | 0423-21-5721 |
| ㊦483 | 山地幸司 | 丸亀市土器町東7-100 | 763 | 0877-23-2765 |
| ㊦491 | 鉄沢義博 | 大阪市西成区玉出東1-9-9 NTT玉出社宅1 | 557 | 06-651-8094 |
| ㊦491 | 西村享 | 京都府相楽郡精華町大字菱田小字宮西19-6 | 619-02 | 07749-3-1091 |
| ㊦492 | 谷口勝彦 | 佐倉市ユーカリヶ丘4-1-W-1207 | 285 | 0434-61-3716 |
| ㊦492 | 山村雅宏 | 東村山市美住町2-3-11 アルカサル武蔵野306 | 189 | 0423-97-4306 |
| ㊦492 | 柳川光一 | 神戸市西区狩場台3-7 ウエルメロード狩場台27-301 | 651-22 | 078-992-7127 |
| ㊦492 | 山田祥治 | 江南市古知野町千丸8 | 483 | 0587-53-2079 |
| ㊦493 | 桑井正樹 | 千葉市稲毛区稲毛台町10-8 | 263 | 043-238-6005 |
| ㊦493 | 松本正夫 | 東京都港区南麻布1-27-37-301 | 106 | 03-5420-7977 |

| 卒業年 | 氏名 | 住 所 | 〒 | 電 話 |
|------|-------|--------------------------------------|--------|--------------|
| ㊦501 | 大浦幹夫 | 甲府市下飯田2-8-35 | 400 | 0552-27-7047 |
| ㊦501 | 大股健 | 市原市菊間2919-11 | 290 | 0436-75-4392 |
| ㊦502 | 石田義博 | 横浜市鶴見区東寺尾2-7-20-105 | 230 | 045-585-4034 |
| ㊦503 | 熊谷博 | 小金市緑町2-4-14-424 | 184 | 0423-87-7370 |
| ㊦511 | 大石正明 | 東京都杉並区萩窪5-9-19-102 | 166 | 03-3220-9580 |
| ㊦511 | 佐伯正美 | 東広島市鏡山2-365 広大がから第1舎4-204 | 724 | 0824-24-3787 |
| ㊦511 | 沢田雅之 | 名古屋市中区三の丸4-1-9 東大手宿舍402 | 460 | 052-262-8509 |
| ㊦512 | 黒岩博司 | 宜野湾市志真志253 志真志住宅2-202 | 901-22 | 098-893-4277 |
| ㊦521 | 佐藤孝 | 新潟市新中浜2-9-6 | 950-21 | 025-261-2168 |
| ㊦521 | 高浜昌浩 | 横浜市金沢区能見台3-51-1 ふれあいの街F903 | 236 | 045-775-3462 |
| ㊦512 | 宮里政信 | 行橋市西泉2-7-2 | 824 | 09302-4-6752 |
| ㊦521 | 芳野保久 | 岡崎市竜美北2-8-2 | 444 | 0564-51-1047 |
| ㊦522 | 浅田邦保 | 滋賀県野州郡野州町大字南桜1406-30 | 520-23 | 0775-88-1649 |
| ㊦522 | 伊藤茂生 | 千葉市緑区大膳野町1058-15 | 266 | 043-292-2831 |
| ㊦522 | 中長英一 | 神戸市西区池上1-7-5 パルピア20-103 | 651-21 | 078-976-3007 |
| ㊦523 | 中島克人 | 藤沢市辻堂東海岸1-14-4 | 251 | 0466-81-4713 |
| ㊦523 | 松本信行 | 横須賀市浦賀町3-4-29 ラブリハイツ浦賀302 | 239 | 0468-44-3726 |
| ㊦531 | 末廣芳和 | 生駒市ひかりが丘3-1-24 | 630-01 | 07437-9-2968 |
| ㊦531 | 吉田健児 | 相模原市弥栄2-2-1 デイオール栄1-204 | 229 | 0427-76-8848 |
| ㊦532 | 松田敏弘 | 富山市蓮町1-7-5-402 | 931 | 0764-38-7854 |
| ㊦533 | 安藤正敏 | 富山市神拝甲466-1 四電神拝アパート126 | 793 | 0897-53-0907 |
| ㊦533 | 土井俊一 | 横浜市栄区小管ヶ谷1899 NTT本郷社宅10-203 | 247 | 045-895-3700 |
| ㊦533 | 名古屋彰 | 奈良市帝塚山南4-20-15-104 | 631 | 0742-41-5224 |
| ㊦541 | 中本哲哉 | 横浜市金沢区釜利谷町1200-6 ニューライフ金沢 文庫B-403 | 236 | 045-788-8027 |
| ㊦541 | 松下鶴正 | 佐倉市上座731-10 | 285 | 043-462-3535 |
| ㊦541 | 小畑敏英 | 小山市若木町1-12-15 日本たばこ若木町社宅 | 323 | 0285-24-9206 |
| ㊦551 | 石尾圭介 | 厚木市宮の里2-4-9 | 243-02 | 0462-42-5746 |
| ㊦551 | 鵜飼直樹 | 岡崎市藤川台3-7-17 | 444-35 | 0564-48-4743 |
| ㊦551 | 中尾哲也 | 宝塚市仁川北1-2-1-304 | 665 | 0798-51-5125 |
| ㊦551 | 藤原彰 | 神戸市西区美賀多台5-16-6 | 651-22 | 078-992-7225 |
| ㊦551 | 松野清隆 | 豊田市岩倉町柿円1-95 | 444-22 | 0565-58-3208 |
| ㊦552 | 松村茂雄 | 藤沢市鶴沼松が岡3-22-22 リバージュ鶴沼202 | 251 | |
| ㊦552 | 酒井和憲 | 東京都江戸川区北葛西5-12-1 メゾン北葛西512 | 134 | 03-5605-6761 |
| ㊦553 | 富沢正之 | 千葉市中央区白旗2-8-2-303 | 260 | 043-266-2029 |
| ㊦553 | 横山充一 | 神戸市西区池上1-7-5 パルピア20-202 | 651-21 | 078-976-5014 |
| ㊦553 | 児玉信一 | 岡山県苫田郡鏡野町竹田1150 動燃社宅C-202 | 708-03 | 0868-54-3931 |
| ㊦561 | 小川覚 | 名古屋港区稲永1-3 中部電力名港アパートC-304 | 455 | 052-382-7658 |
| ㊦561 | 亀井義人 | 生駒市秋の台5-1-5-303 | 630-02 | 07437-6-5378 |
| ㊦562 | 内山裕敏 | 横浜市鶴見区矢向1-17-23 コンフォール鶴見304 | 230 | 045-584-3993 |
| ㊦562 | 岡田英俊 | 東京都板橋区清水町27-5-502 | 174 | 03-3964-3137 |
| ㊦562 | 須井昌弘 | 川越市志多町19-1-105 | 350 | 0492-25-3154 |
| ㊦562 | 竹入康彦 | 可見市阜ヶ丘9-207 | 509-02 | 0574-64-0794 |
| ㊦562 | 藤井久雄 | つくば市並木2-14-301-802 | 305 | 0298-51-6927 |
| ㊦562 | 梶井晃二 | 日立市金沢町3-7-5 | 316 | 0294-38-1160 |
| ㊦563 | 石上和宏 | 大和市西鶴門4-13-12 | 242 | 0462-62-9435 |
| ㊦563 | 佐伯昭 | 水戸市千波町1717-32 | 310 | 0292-44-6439 |
| ㊦563 | 西川晃平 | 神戸市西区竹の台3-12-4 | 651-22 | 078-992-4748 |
| ㊦563 | 森正裕 | 岐阜市藪田1-1 | 580 | 0582-71-2424 |
| ㊦571 | 杉山智也 | 春日井市高森合4-4-9 | 487 | 0568-91-9291 |
| ㊦571 | 星光明 | 大阪市旭区新森4-7-9 | 535 | 06-952-2276 |
| ㊦572 | 山崎哲男 | 伊丹市稲野町3-3 稲野駅前やのビルB411 | 664 | 0727-79-5481 |
| ㊦573 | 近藤信也 | 熊本市黒髪5-8-26-901 (留守宅) | 860 | 096-344-4840 |
| ㊦583 | 日野雅彦 | 日立市石名坂町1-19-1-204 | 319-12 | 0294-53-6170 |
| ㊦583 | 中屋賢一郎 | 神戸市西区北別府5-18-1 ビュラ北別府105 | 651-21 | 078-976-2518 |
| ㊦591 | 芹生浩穴 | 千葉市中央区仁名町723-1-205 | 260 | 043-268-5476 |
| ㊦591 | 多田羅昌嗣 | 八幡浜市松柏甲836 | 796 | 0894-22-4419 |
| ㊦591 | 横田和男 | 堺市上野芝町7-5-1-502 | 593 | 0722-45-0137 |

| 卒業年 | 氏名 | 住 所 | 〒 | 電 話 |
|------|-------|------------------------------------|--------|--------------|
| ㊦593 | 三宅了平 | 福岡市東区多の津5-12-17 | 813 | 092-611-1430 |
| ㊦593 | 林俊介 | 青梅市師岡町2-414-12 | 198 | 0428-21-5974 |
| ㊦601 | 稲山昌弘 | 千葉市中央区宮崎1-17-1-202 | 260 | 0472-66-8264 |
| ㊦601 | 大本至宏 | 倉敷市鶴の浦1-5-E1-802 | 712 | 0864-46-2218 |
| ㊦601 | 嘉数誠 | 東京都世田谷区喜多見6-20-7 エスポワールタチバナ302 | 157 | 03-3749-8925 |
| ㊦601 | 玉置久 | 京都市上京区堀川通二条下ル主計町2-1 京都堀川グランドハイツ207 | 602 | 075-414-3801 |
| ㊦603 | 稲垣恵三 | 奈良市西大寺柴町3-32 シャンティ-西大寺703 | 631 | 0742-35-5790 |
| ㊦603 | 山本正幸 | 尼崎市南塚口町2-18-22 エヌビレッジ301 | 661 | 06-428-7148 |
| ㊦612 | 浅野眞成 | 朝霞市泉北3-1-20-414 | 351 | 0484-62-6424 |
| ㊦612 | 岩根靖 | 三田市ゆりのき台1-2-1 リバーヒルズ1529 | 669 | 0795-65-3139 |
| ㊦613 | 岡嶋達也 | 高槻市宮田町3-53-3 プレスハイム102 | 569 | 0726-92-6451 |
| ㊦613 | 熊谷泰美 | 宇都市藤山区東平原330 中国電力藤山アパート43 | 755 | 0836-22-0575 |
| ㊦613 | 的場照久 | 京都市西京区下津林大船若町74-14 メゾンマンケンI-103 | 615 | 075-393-5406 |
| ㊦622 | 衛藤修治 | 北九州市若松区鴨生田2-4-26 | 808-01 | 093-791-5085 |
| ㊦622 | 原田泰志 | 勝田市青葉町10-1 イーグル青葉 | 312 | 0292-76-4890 |
| ㊦623 | 大矢智之 | 横須賀市汐入町1-6-1 メゾンドドウール402 | 238 | 0468-24-8341 |
| ㊦623 | 渡部悌秀 | 日立市東多賀町3-14 光仁アパートB403 | 316 | 0294-38-0534 |
| ㊦631 | 市森俊秀 | 川崎市麻生区王禅寺1170 日立王禅寺寮209 | 215 | 044-952-6317 |
| ㊦631 | 大沼均 | 名古屋市中村区岩塚町小池1-1 三菱小池社宅D-502 | 453 | 052-413-5295 |
| ㊦631 | 中西五輪生 | 三鷹市下連雀7-4-20 横河電機三鷹第1寮 | 181 | 0422-41-9214 |
| ㊦631 | 野間隆嗣 | 大阪市淀川区田川3-1-35 ボンメゾン塚本503 | 532 | 06-307-0614 |
| ㊦631 | 橋野嘉孝 | 東京都板橋区徳丸3-36-9 ハイプラスエル204 | 175 | 03-5398-7542 |
| ㊦631 | 宮尾信一 | 羽村市緑ヶ丘2-19-1 エスポワール沖404 | 205 | 0425-78-1357 |
| ㊦631 | 宮崎淳平 | 日立市相田町1-5-1 南ヶ丘寮B509 | 319-14 | 0294-25-3352 |
| ㊦632 | 屬真人 | 神戸市西区糀台4-16-2 ミノルタ(株)CASA西神戸409 | 651-22 | 078-992-6825 |
| ㊦632 | 柴田伸昭 | 東京都杉並区天沼1-4-2 ドミトリー杉並203 | 167 | 03-3394-7857 |
| ㊦632 | 豊田孝 | 伊丹市昆陽字平田10-1-126 | 664 | 0727-85-2774 |
| ㊦633 | 植原宣和 | 高知県土佐郡本川村脇の山283 四電本川寮314 | 781-31 | 0888-69-2564 |
| ㊦633 | 西野弘師 | 伊勢原市東大竹1-13-3-404 | 259-11 | 0463-91-8509 |
| ㊦633 | 三宅功 | 岡山市福成3-4-35 | 702 | 0862-65-7558 |
| 平011 | 黒田論 | 八王子市子安町1-46-8 WAVES307 | 192 | 0426-56-0763 |
| ㊦011 | 竹井啓晃 | 保谷市ひばりが丘1-14-10 富士銀行ひばりが丘寮 | 202 | 0424-24-5818 |
| ㊦012 | 木元伸一 | 札幌市南区南32条西11-2-1-205 | 005 | 011-582-2141 |
| ㊦013 | 久保光宏 | 東京都荒川区西日暮里3-15-4 種田アパート | 116 | |
| ㊦013 | 熊本睦 | 横浜市金沢区釜利谷町4622-13 阿王ヶ台寮B-305 | 236 | 045-701-3318 |
| ㊦013 | 田窪健二 | 京都市東山区五条橋東6-539-11 | 605 | 075-531-4502 |
| ㊦013 | 辻鼓 | 調布市上石原1-42-6 沖電気調布寮307 | 182 | 0424-81-1651 |
| ㊦013 | 福田賢一 | 川口市飯塚1-3-2 通産省川口独身寮411 | 332 | 0482-58-6943 |
| ㊦021 | 武仲久哉 | 東京都杉並区阿佐谷南2-11-19-206 | 166 | 03-3314-1880 |
| ㊦021 | 洞口明史 | 東京都板橋区桜川3-1-5 JR東海新横浜寮 | 174 | 045-321-0740 |
| ㊦021 | 森本健嗣 | 宝塚市安倉中4-18-28 | 665 | 0797-84-5575 |
| ㊦022 | 神田哲夫 | 横浜市緑区千草台30-5 キャノン藤が丘寮201 | 227 | 045-904-1441 |
| ㊦033 | 田上一樹 | 東京都江戸川区西葛西3-3-17 日本生命西葛西寮410 | 134 | 03-5605-7659 |

訃報

| | | |
|-------|------|------|
| 講大 6 | 加藤逸三 | 4・12 |
| 講昭 6 | 野田勲樹 | 2・7 |
| 講昭 10 | 近藤敬吉 | 4・7 |
| 昭 15 | 大橋章男 | 3・11 |
| 昭 20 | 柏村聡明 | 4・4 |
| 昭 42 | 稲生公 | 3・11 |
| 昭 42 | 田中五美 | 4・9 |
| | | 12 |

以上の方々がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

お詫びと訂正

洛友会会報(第160号)7月号
 頁9 昭和21年入学者クラス会の
 参加者西田富士夫(誤) ↓ 西田栄
 一(正)に訂正方。
 以上謹んで訂正致します。

編集後記

本10月号の巻頭言は大谷会長に
 お願しました。近藤常任幹事の
 「故竹村清氏と私」は途中カット
 になり申訳がございます、一月
 号の後半ご期待ください。
 名簿発行後の会員住所変更一覧
 表を掲載しました。参照ください。
 (事務局長矢木原邦雄記)